1 100 1 VIVINI N	<u></u>		評価)							
事務事業名	行政評	<u>F</u> 価事業				事業開	開始年度 平	成18年度		
担当課	総合政	双策部 総合政	対策課		担当者	大	橋航平			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	01	市民とともに	-築く自立	した行財政					
総合計画体系	施策	03	効果的・効率	⊠的な行政	経営の推進					
	基本事	本事業 01 成果を重視した行政経営の確立								
事業の目的	成果を	·意識した「PI	an-Do-Check-Act	ion」のマ	ネジメントサー	イクルを実践し	ノ、市の施策・	· 事		
争未の日的	業につ	いて市民への	説明責任を果たす	ため。						
申業の振曲	事務事	業評価の実施	(事前評価を基に	実施計画	を策定・事後記	平価の調書を2	\$開)			
事業の概要			評価(結果を基に	こまちづく	り報告書を作品	戊)				
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	74	年度		
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	á初		
		総事業費	2, 168		2, 2	69	2,	322		
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価 (Check) 】									
	指標	tE:	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	宗 17 17	辛匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	行政証価を理解	している職員の割合	%	79 8	76 2	80	80		
1日1示り1日1岁	从未	门以計画と生所	している城長の町口	70	73.0	70. Z	00	00		
	成果		していると思う職員	%	58. 2	69. 2	70	70		
		の割合		, •	• • • •	***	70	70		
	評価		既ね達成した			成できず				
達成度の			を理解している職							
評価と説明	説明	1 − 1−1 − 1 − 1 − 1 − 1 − 1 − 1 − 1 − 1	指標の目標値に延	至く、事業(の目的をほぼ〕	達成している*	犬況と言える。			
見直し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし										
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性										
資源方向性	│ 予算額 │○拡大 ●現状 ○縮小 │ 業務量 │○拡大 ○現状 ●縮小									

事務事業調書((通常評価事業 事後評価)							
事務事業名		·画作成事業				事業開	始年度 令	和 6年度
担当課	総合政	策部 総合政	策課		担当者	永	井 聡行	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策	01	市民とともに	-築く自立	した行財政			
総合計画体系	施策	03	効果的・効率	∞的な行政	経営の推進			
	基本事	業 01	成果を重視し					
事業の目的	計画的 る。	な行政経営を	推進するための指	≨針とし、⁻	マネジメントの)推進基点とな	る計画を設定	<u>ੇ</u> ਰ
事業の概要		くら市総合計	†画の策定					
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	7年	度
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	当	初
		総事業費	0		3, 0	80	7, 9	75
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	+6+	票名称 票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	1日1	宗	甲位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	計画策定数		なし		0	1	
						0	1	
	評価	〇達成、	概ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず	•	
達成度の			生実施し、序論案					
評価と説明	説明	説明 基本計画の構成、基本構想の変更点まで整理できた。						
見直し余地	し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし							
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性	事業の方向性【○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了							
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小							

事務事業調書(通常評	価事業 事後	(評価)							
事務事業名	人事評	F価事業					開始年度 平	成19年度		
担当課	総合政	文策部 総務認	R		担当者	南	部に志			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			,					
	政策	01	市民とともに	-築く自立	した行財政					
総合計画体系	施策	03	効果的・効率	⊠的な行政	経営の推進					
	基本事	基本事業 ■ 02								
市業の口め	職員の	員の能力態度や実績を的確に把握、評価し、その結果に応じた公平な処遇や人材育成に反								
事業の目的	映させ	させることで、職員の意欲を高め、市民サービスの向上につなげる。								
古米の押用	人事評	価(能力態度	評価・実績評価)	の実施。						
事業の概要			精度向上のための		修、評価(調整)会議の実施。				
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	=度	7全	丰度		
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実	績	<u> </u>	首初		
		総事業費	0			0		0		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+15.4	亜 夕 Ұ-	光上	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	担任	漂名称	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	実績評価の目標	を達成できるよう意	%	83	83	90	90		
担保の推修	八米	識して取り組ん	だ職員の割合	%0	00	03	90	90		
	成果	能力期待水準を	意識し、部下の育成	%	82	63	90	90		
	八米	等を行った評価		, •	<u> </u>		90	90		
	評価			多少は達		重成できず しょうしょう				
達成度の			内容については、							
評価と説明	説明		♀となる部分であ				(管理職)の	意識を改善		
し、評価能力の向上に引き続き取り組む必要がある。										
見直し余地	判定		に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇名	k地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性 ●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大	●現状 〇縮小	\		

1 370 1 7 7 7 7 7 7 7 7	(通常評価事業 事後評価)								
事務事業名	職員多	全衛生管理事	業				開始年度 平	成26年度	
担当課	総合政	双策部 総務談	Ę.		担当者	南·	部に志		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	01	市民とともに	-築く自立	した行財政				
総合計画体系	施策 03 効果的・効率的な行政経営の推進								
	基本事業 03 適正な人事管理の推進								
事業の目的	さくら	市職員が安全	で健康に働ける崩						
事業の概要	医学的	専門知識を有	づき、職場の安全 する産業医を設置		を確保するため	り、安全衛生す	奏員会を開催 。		
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7至	丰度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績				놸	当初	
		総事業費	1, 230		1, 2	33	1, 3	348	
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	打日1	宗	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	労働災害事故件	数	件	7	7	0	0	
	活動	安全衛生管理事		件	8	8	8	8	
	評価	i ○達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の		R6年度につ	ついては、作業中	の災害が7 ⁻	件発生している	5 。			
評価と説明	説明	職員の健康	康に関しては、高	ストレス者	が増加傾向に	あることから	、職員カウン	セリングや産	
	業医との面接により職員1人当たりに係る負担を軽減していく必要がある。								
見直し余地	判定	〇数年内I	こ見直し可能 (⊃余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性									
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小							`	

事務事業調書(通常評	一個事業 事後	評価)						
事務事業名	職員研	邢修事務					始年度 平	成26年度	
担当課	総合區	女策部 総務認	Ę.		担当者	南	部に志		
■事業の執行計		·画(Plan)】							
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策	03	効果的・効率						
		基本事業 03 適正な人事管理の推進							
事業の目的		が公務員とし なる。	て基礎的な知識、	技能を習	导するととも1	こ、専門的知識	战や技術を有す	トる	
事業の概要			·塩谷・那須南ブ ō町村振興協会研			.kg IIAAA	研修		
■事業実施結果	【実施		1叫竹饭哭肠云切	11字、「「」叫」个:	アカテミー切	刊多、JIAIVI	11개 11명 11명		
■尹未天心和木	大大儿	年度	5年度		6.5	 E度	7.5	 F度	
事業費の推移	Ф.		実績			- <u>反</u> 績		+ <u>反</u> 4 初	
争未負の推修		^{限/ ヨ初 ア 昇} 総事業費	3. 268		天		3.9		
■前年度の事業		於事業員 【評価 (Check)	3, 200		Σ, 1	13	J, 3	970	
■前十尺の手木	指標		_ A	1	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	指	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	必須研修受講率		%	82	92	90	90	
	成果	自主的に研修参		人	35	46	40	40	
	評估	□ ○達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇遺	重成できず しょうしょう			
達成度の			5針に基づいた本						
評価と説明	説明	月 専門研修る	と実施している。	階層(役職)	別研修は必須	[研修であるが	、業務多忙等	の理由により	
	欠席する者もあった。職員が積極的に参加できるような職場環境の整備が必要。								
見直し余地	判员	E 〇数年内	こ見直し可能	●余地はあ	<u>るがまだ時間</u>	<u> 閉が必要 ○</u> 分	<u>₹地なし</u>		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	〇見直		状どおり継続	○廃止・					
資源方向性	● 予算額 O拡大 ●現状 O縮小 業務量 O拡大 ●現状 O縮小 ■ 業務量 D拡大 ●現状 O縮小 ■ 業務量 ■ □ 製造 ■ □ ■ □ 製造 ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■								

	通常評価		評価)						
	職員厚:	生事業				事業開		成18年度	
担当課	総合政	策部 総務認	Ę.		担当者	f 南i	部 仁志		
■事業の執行計	画【計画	画(Plan)】				<u> </u>			
	政策	01	市民とともに	- 築く自立	した行財政				
総合計画体系	施策	03	効果的・効率	図的な行政	経営の推進				
	基本事業 03 適正な人事管理の推進								
古光の口が	職場を決	場を活性化する事業やスポーツ団体等に助成を行うことで、職員間の親睦を深め、組織力							
		向上を図る。資格取得に対し助成を行うことで職員の自己研鑽を推奨する。							
			職場活性化事業助						
事業の概要	тш т зуз		13 31 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3,,,,,					
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	F度	
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実	績	7	i初	
	総	8事業費	110		15			0	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+15.4	ボ ク 1 を	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	拍	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
151年の1472		利用件数(職場	活性化、ライフワー	144	0	10			
指標の推移	成果	ク支援、福利厚	生振興事業)	件	8	10			
	評価	●達成、ᅒ	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず		•	
達成度の		職場活性化	L事業、福利厚生	振興補助事	業については	認知度が低く	低調な利用件	数となってい	
評価と説明	説明								
#1 III = #2073	│ 説明 │るものの、ライフワーク支援助成については利用者が増加しており、引き続き積極的な情報 │ │ 発信に注力し、利用者増を図っていく。								
見直し余地	判定		こ見直し可能			が必要 〇分	き地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性									
			、●現状 〇縮小		業務量		現状 〇縮小	,	

1 100 1 1 1 1 N N N N N N N N N N N N N			評価)						
	職員優	康管理事務				事業開	始年度 平	成26年度	
担当課	総合政	文策部 総務談	Ę.		担当者	f 南	部 仁志		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				<u> </u>			
	政策	01	市民とともに	-築く自立	した行財政				
総合計画体系	施策	03	効果的・効率	∞的な行政	経営の推進				
	基本事業 03 適正な人事管理の推進								
古世の口む	職員の	心身の健康の	保持増進を図り、		分に発揮するこ	ことができる崩	戦場環境の形成	えを	
事業の目的	目的と								
丰			づき、職員の心身	₽の健康の値	呆持増進のた&	り、健康診断、	人間ドック受	診	
事業の概要			ェック、カウンセ						
■事業実施結果									
		年度	5年度		6年	度	7年	F度	
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実	実績当初		i初	
		総事業費	4, 032		4, 2		6, 2	233	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+64		単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1日1	宗	中位	実績	実績	計画	計画	
七冊の批抄	成果	人間ドック又は	職員健康診断を受診	%	94	94	100		
指標の推移	八 未	した職員の割合		%0	94	94	100		
	評価	ī ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず		•	
達成度の		人間ドック	7又は職員健康診	断を受診し	た職員の割合	は94%と高い	水準にある。		
評価と説明	説明		トレス環境の軽減				止、周囲のサ	ポート等によ	
	り、職員1人当りに係る負担を軽減する必要がある。								
見直し余地	判定	≧ ○数年内Ⅰ	こ見直し可能 (D余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算額 □○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 □○拡大 ●現状 ○縮小								

事務事業調書(通常評	価事業 事後	(評価)						
事務事業名	職員採	採用事務				事業開	始年度 平	成26年度	
担当課	総合政	双策部 総務談	ŧ		担当者	f 南·	部に志		
■事業の執行計	画【計					***			
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策	03	効果的・効率						
	基本事		適正な人事管						
事業の目的	職務を	·遂行するにあ	たって必要な知識	战・能力を [₹]	有する者を採用	用するため。			
事業の概要	用試験	を実施する。	や業務量に基づき	・、採用すぐ	べき職員数及び	が職種の決定 を	そ行い、必要な	採	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度		F度	
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実	績		初	
		総事業費	265		3	73	7	97	
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】									
	指標	ti: t	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	381	未 11 1小	平区	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	受験倍率(1次	募集)	倍	4. 8	2. 7	9		
	評価	□ ○達成、	既ね達成した	多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の	HILE		よ人材を確保する				必要となる。	多様な媒体に	
評価と説明	説明							2 14 0 3 K 1 1 1 =	
11 Im C 170 71	説明おいてPRを行うなど、今後も引き続き受験者の確保に努めたい。								
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	除地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	事業の方向性 ┃●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了								
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小								

事務事業調書((評価)						
事務事業名	さくら	市姉妹都市刻	を流事業					成25年度	
担当課	総合政	双策部 総合政	策課		担当者	高	橋 岳陽		
■事業の執行計									
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策	03							
	基本事		広域行政・ダ						
事業の目的		i妹都市や国際	友好都市との交流	を促進し、	市民文化の「	句上と都市間村	互の発展を図		
	る。	十二十 块工	日 かなナッナロロ	1.4.4.4.1.4.2	大声光ナ 仁 ミニ	+ B B # 1 - * 1	ᄜᅷᄼᆂᅔ	ı	
事業の概要			県加須市の市民団			『氏凹体に刈し	, 助队並を父い	J	
■事業実施結果			デス市との交流イ	ヘフトを	刑1性				
■尹未天心和木	大大心	年度	5.年 亩		6.4		7.5	- 	
古光井の併わ			5年度			E <u>度</u>		F度 i初	
事業費の推移		፱/ヨ例ア <u>昇</u> 総事業費	<u>実績</u> 11. 297			<u>績</u> 13	1.1		
■前年度の事業		評価(Check)	11, 297			13	Ι,	29	
■刑牛及の事業	指標	計画 (OHECK)	1		5年度	6年度	7年度	8年度	
	日 区分	指	票名称	単位		実績	計画	計画	
15.14 O 14.14		*B 134 L =	## o thi A						
指標の推移	活動	成果があった事	業の割合 	%	100	100	100	100	
	=== /=		ᇑᇈᆂᅷᆝᆂ	ンタルルキ		<u> </u>		<u> </u>	
` + + + + + +	評価			多少は達		成できず		ಪಚಾ. <u>+</u>	
達成度の	=24 00		都市間交流につい		ら巾制20周年	記念イベント	への訪問団を	受け入れ、友	
評価と説明	説明と対交流を深めることができた。								
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
		Action)	-70E O 11 III	- // 10 (0)	, W. 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		<u> </u>		
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性									
ラスル・ハード は	J′ J				不切里		ノシいハ 〇州17		

事務事業調書(通常評	価事業 事後	(評価)						
事務事業名	ホーム	ページ管理選	営事業			事業開	始年度 平月	成26年度	
担当課	総合政	双策部 総合政	対策課		担当者	井戸	⇒沼 美香		
■事業の執行計	画【計	画【計画(Plan)】							
	政策	01	市民とともに	-築く自立	した行財政				
総合計画体系	施策	03	効果的・効率	∞的な行政	経営の推進				
	基本事	業 05	広報・広聴⊄)充実					
事業の目的	ホーム る。	ページを通し	て、常時市民が最	最新の市政情	青報やイベント	・情報を入手す	ることができ		
事業の概要			ホームページを開	記し、市の	の政策やイベン	・ト情報などを	提供する。		
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	漬	7年度 当初		
		総事業費	2, 710		1, 937		1, 9	48	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	±⊵.	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	111	宗 17 17	丰位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	ホームページの	セッション数	件	904, 983	943, 153	944, 000	944, 000	
	活動	数	公開しているページ	ヘーシ	2, 146	2, 264	2, 300	2, 300	
	評価		概ね達成した						
達成度の		市政20周年	Fを記念した特設	サイトでは	は、記念イベン	トのお知らせ	や、20年間の	振り返りな	
評価と説明	説明	』 ど、節目の	D年にふさわしい	盛りだくさ	んの内容とし	た。ホームペ	ージに係る研	修を職員向け	
		に実施して、職員一人ひとりが誰もがわかりやすいホームページ作りを意識した。							
見直し余地	し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし								
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書((通常評価事業 事後評価)								
事務事業名	広報組	【 発行事業				事業開	始年度 平月	成26年度	
担当課	総合政	双策部 総合政	て 策課		担当者	澤	優太朗		
■事業の執行計									
	政策	01	市民とともに	- 築く自立	した行財政				
総合計画体系	施策	03	効果的・効率	∞的な行政	経営の推進				
	基本事業 05 広報・広聴の充実								
事業の目的			市政情報を周知す		より、市政に理	里解や協力をし	、てもらう。		
事業の概要		さくら」を自 で市内に配布	らの取材や各課等 している。	からの情報	報提供により毎	≨月1回発行し	,、新聞折込み	や	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	度	
事業費の推移	実糸	責/当初予算	実績		実	績	当	初	
	i	総事業費	11, 538		10, 5		15, 1		
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+15.4	ボ ク 1 を	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	拍	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	広報紙の発行部	数	部	149, 640	143, 600	142, 000	142, 000	
	成果	WEB版閲覧数		回	19, 958	21, 698	22, 000	22, 000	
	評価	i ○達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の		新聞購読者	音の減少により、	広報紙の折	f込世帯が減少	した。その分	、ホームペー	ジにある広報	
評価と説明	説明 紙の閲覧数が増加している。								
見直し余地	見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし								
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小								

	通常評価		評価)						
事務事業名	市勢要	覧作成事業				事業開	始年度 平	成22年度	
担当課	総合政	策部 総合政	(策課		担当者	桑	島・伸幸・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
■事業の執行計	画【計画	画 (Plan) 】							
	政策	01	市民とともに						
総合計画体系	施策	03	効果的・効率		経営の推進				
	基本事		広報・広聴⊄						
事業の目的			政、資源などの <u>情</u>		め、住民や企業	き、団体などに	三対し市の周知	口を	
ず木の口口			こ利用するために						
事業の概要	5年に1	度情報更新を	兼ね、作成を行	う。また遃	i宜増刷を行う				
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	. 度	75	 F度	
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実	績	놸	的初	
	丝	8事業費	198		9			58	
■前年度の事業	分析【訂	平価 (Check)]						
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	扫打	示句例	単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動「	市勢要覧の発行	红米布	部	340	300	300	300	
1日1示り71年19	/11 到	リ男女見の元门	1) XX 11	Пh	340	300	300	300	
	<u> </u>			<u> </u>	h				
	評価		既ね達成した(成できす			
達成度の		誘致や視察	咚などで活用を行	い、増刷を	行っている				
評価と説明	説明								
日本1人地	생하는	● **- 左 - b /	- 日本 L - 日 北 /	7.A.W.L.+	フ <u> </u>	145.V m 0/	<u> </u>		
見直し余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小								

事務事業調書(通常評価事業 事後評価)								
事務事業名	データ放送事業					事業開	始年度 平	成23年度
担当課	総合政策部 総合政策課				担当者	井	戸沼 美香	
■事業の執行計画【計画(Plan)】								
総合計画体系	政策	01	市民とともに					
	施策 03		効果的・効率的な行政経営の推進					
	基本事		広報・広聴の充実					
	市民に迅速かつ正確な情報を提供するとともに、一定程度の市政情報を容易に取得できるよ							
	うにする。							
事業の概要	各課から提出された記事及び担当で掲載すべきと判断した記事をデータ化して、とちぎテレ							
	ビのデータ放送に掲載する。							
■事業実施結果【実施(Do)】								
事業費の推移	年度 5		5年度		6年度		7年度	
	実終	実績/当初予算 実績			実績		当初	
	総事業費		924		924		0	
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
指標の推移	指標	指標 指標名称		単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	JH1	宗17 17	辛四	実績	実績	計画	計画
	活動	┃ 記事の掲載件数		件	677	548	0	
	/11到	記事の161戦 円数		ΙΤ	077	340	U	
達成度の	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず							
	データ放送を継続して実施することにより、情報弱者に向けた市政情報の提供ができた。							
評価と説明	┃ 説明 ┃インターネットからの情報取得が難しいであろう高齢者向けの記事を充実させることができ┃							
	た。							
見直し余地	判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし							
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性 ○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了								
資源方向性	方向性 │ 予算額 │○拡大 ○現状 ●縮小 │ 業務量 │○拡大 ○現状 ●縮小							